

平成28年度 市長とランチでトーク 一般編

「市長とランチでトーク」は、市政をより身近に感じてもらい、理解を深めていただくことを目的として実施するものです。

今回は、「一般編」として実施し、市内在住のお母さんたちで作るグループ parannus（パラノス）会の6名が参加し、昼食をとりながら市長と懇談しました。

● 開催日 平成28年5月30日（月） 12:00～13:00

● 出席者〈参加者〉 parannus（パラノス）会 6名

グループ名はフィンランド語で“改善” “向上”を意味する parannus に由来。ママをとりまく子育て・労働環境の改善、自分達の人間性の向上を目的としている。著名人を招いた講演会の企画もしている。

〈市側〉 市長

懇談に先立ち市長から市政についての説明と、参加者からグループの活動についての紹介と自己紹介が行われました。その後、お弁当を食べながら和やかに懇談が行われました。

参加者：

- ・産後、家にこもっている母親を外に出すこと、消費活動させることは、経済においても必要である。しかし、子どもを預けることになる経済面で負担がかかる。市は託児について補助をするべきだと思う。産後ケアが充実すれば、産後ママが外に出るきっかけになる。
- ・他県にあって宇都宮市にないサービスとして「ホームスタート」という事業がある。民間団体が行っている事業だが、研修を受けた先輩ママ達が、お子さんのいる家庭に無料で4～5回訪問してくれるものである。市も導入したらどうか。
- ・このほか「子育てサロン」や広報紙の入手方法、学童保育の学校間格差等の話題が出ました。

市長：皆さんの意見は本当に参考になりました。子供たちをしっかりと育てていかないと社会全体がだめになってしまうので、これからもできることを実行していきたいと思います。本日はありがとうございました。





最後は、お子さんも一緒に市長と記念撮影です。